サステナビリティ重要課題 –リスクと機会

王子グループを取り巻く環境の変化は、リスクだけではなく大きな機会になると認識しています。その強みを最大限に活かし、企業価値をさらに高めていきます。

サステナビリティ重要課題			関連するリスクと機会	リスク軽減および機会最大化のための主な取り組み	
気候変動の緩和・適応 持続可能な森林経営と生物多様性の保全	リスク	短・中期 短・中期 中・長期	●炭素税の強化・導入、排出権取引制度の導入等によるコスト増 ●企業の取り組み姿勢への評価や市場価値観の変化による売上への影響 ●異常気象による自然災害の甚大化	●生産効率向上、省エネルギー、再生可能燃料・廃棄物燃料の活用によるGHG排出量削減 ●持続可能な森林経営、森林認証取得率の向上 ●生物多様性保全・水源涵養・土壌保全等森林の多面的機能の維持・拡大 ●自然資本の価値づけをめぐる国際ルール形成に向けたコンソーシアム(CGC-NBS)への参画	●森林の拡大や成長性改善による二酸化炭素の吸収・固定量向上 ●再生可能エネルギー事業の展開 ●環境配慮型製品の開発 ●自然資本の定量評価、自然資本会計の制度化に向けた議論に関与
	機会	短・中期 中・長期 中・長期	●ネイチャーポジティブの重要性の高まりによる社有林の価値の再評価 ●低炭素製品、木質由来製品の需要増 ●森林由来の炭素・生物多様性クレジットの需要増による社有林の価値向上		
資源の循環的利用	リスク	中・長期	●資源の枯渇による基幹事業への影響	●持続可能な森林経営に基づく木質資源の活用 ●古紙利用促進で培ったリサイクルネットワークおよびリサイクル技術の活用 ●水資源の再利用による使用量削減	●水処理事業の海外への展開
	機会	短・中期	●資源循環型である紙製品の価値を再評価(脱プラへの寄与等) ●水処理技術の展開		
責任ある原材料調達	リスク	短・中期	●サプライチェーン上で環境や社会への配慮に欠けた事例の発生 ●原材料調達に対する地政学的リスク	●「王子グループ・サプライチェーン・サステナビリティ行動指針」「木材原料の調達指針」および「森林破壊・転換ゼロコミットメント」による、環境や社会に配慮したCSR調達拡充への取り組み	●サプライチェーン・マネジメントの徹底(サプライヤーのモニタリング、リスク評価や多様な調達先確保等による適切な調達) ●FSC®認証製品(FSC®C014119他)の供給
	機会	中・長期	●欧州等の規制強化および消費者意識変化による環境配慮型製品の需要増		
環境負荷の低減	リスク	短・中期	●汚染による社会への悪影響、それに伴うステークホルダーからの信頼低下	●環境規制値より厳しい自主管理値の設定 ●排水、排出ガス中の汚染物質の排出抑制 ●廃棄物の削減・有効利用	●環境配慮型製品・生分解性素材の開発(化石資源由来から木質由来へ)
	機会	中・長期	●欧州等の規制強化および消費者意識変化による環境配慮型製品の需要増		
人権の尊重	リスク	短・中期	●人権への配慮欠如によるステークホルダーからの信頼低下	●「王子グループ企業行動憲章・行動規範」「王子グループ人権方針」の制定と運用 ●内部監査の実施 ●内部通報制度の運用	●社内研修等によるコンプライアンスおよび人権に対する意識の醸成 ●サプライヤーの人権尊重等のリスク評価 ●人権通報窓口の設置と運用(苦情処理メカニズム)
	機会	中・長期	●エンゲージメント向上		
人的資本の強化	リスク	短・中期	●採用競争力の低下、人財の流出 ●コンプライアンス違反事象の発生	●人財育成環境の整備 ●多様な働き方、ダイバーシティの推進 ●キャリア採用の拡充 ●コンプライアンス研修の徹底	
	機会	中・長期	●優秀な人財の確保による生産性の向上、イノベーションの創出		
職場の安全衛生の確保	リスク	短・中期	●労働災害の発生 ●感染症の蔓延等による従業員の健康阻害	●安全衛生管理体制の確立と安全衛生活動の推進 ●機械・設備、作業等における安全確保の徹底 ●安全教育の推進	●従業員の心身の健康促進 ●快適な職場環境の整備 ●感染症への対応
	機会	中・長期	●災害や感染症等への迅速な対応によるステークホルダーからの信頼向上		
安全安心な製品の供給	リスク	短・中期	●ネガティブな風評拡大によるステークホルダーからの信頼低下	●自社製品の安定供給 ●関連法規遵守およびそれを上回る自主管理値に従った安全な品質設計・管理	●お客様への製品、原材料(薬品、資材)の安全性情報の提供
	機会	中・長期	●安全安心な製品の安定供給による社会への貢献とそれに伴う企業価値の向上		

＊おおむね2030年以前を「短・中期」、2030年以降を「中・長期」として、事業への影響が大きいリスクと機会を整理しています。